

化合物または組成物の殺生物, 有害生物忌避, 有害生物誘引または植物生長調節活性[8]

注

(1) このサブクラスは, サブクラス A01N もしくは C12N, またはクラス C01, C07 もしくは C08 に既に分類されている化合物または組成物の殺生物, 有害生物忌避, 有害生物誘引または植物生長調節活性を含む。[8]

(2) サブクラス A01N のタイトルに続く注に注意する。この注は, このサブクラスにも適用し得る。[8]

(3) このサブクラスでは, 活性は適切な箇所すべてに分類する。[8]

(4) 発明の主題が, 化合物または組成物の殺生物, 有害生物忌避, 有害生物誘引または植物生長調節活性のみに関しており, 発明のこの主題の化学構造, 化合物, 混合物または組成物が知られているケースに注意が必要である。そのようなケースでは, 分類はサブクラス A01N と A01P の両方に発明情報として付与される。加えて, 化学構造, 化合物, 混合物または組成物, あるいは混合物または組成物の個々の含有物のいずれかが調査に重要な情報を示すものと考えられる場合は, それも付加情報として分類してもよい。[2012. 01]

(5) このサブクラスの分類記号は, 特許文献に付与する際に最初には記入されない。[8]

- 1/00 殺微生物剤; 抗微生物性化合物またはその混合物[8]
- 3/00 殺菌・殺カビ剤[8]
- 5/00 殺線虫剤[8]
- 7/00 殺節足動物剤[8]
- 7/02 ・殺ダニ剤[8]
- 7/04 ・殺虫剤[8]
- 9/00 殺軟体動物剤[8]
- 11/00 殺鼠剤[8]
- 13/00 除草剤; 殺藻剤[8]
- 13/02 ・選択性のある[8]
- 15/00 特定の目的のための殺生物剤であって, グループ A01P1/00-A01P13/00 に展開されていないもの[8]
- 17/00 有害生物忌避剤[8]
- 19/00 有害生物誘引剤[8]
- 21/00 植物生長調節剤[8]
- 23/00 化学不妊剤[8]